

同定のカギ
・キュウリやカボチャに似ている
・トゲだらけの果実が塊となって結実する



形態・特徴

北米原産の帰化植物。つる性で**5-8mに達する**。軟毛に覆われた丈夫な約10cmの葉柄に、最大25cmの5浅裂の葉身がつく。

5枚の花弁からなる緑白色の花をつける。雌雄異花で、雄花は非常に長い柄の総状花序となり、雌花は短い柄の先に頭状花序となる。

3-15個の果実が塊となって結実し、1個の果実に1個の種子を含む。種子は大きく(10×15mm)、暗褐色で平たく、多くのトゲを持つ果皮に包まれる。**1株あたり4,500-78,000個の種子を作る**。

発生生態

北海道以南で分布が確認されている。

芽生えはキュウリやカボチャとよく似ており、いわゆる'野良'カボチャと見間違いやすい。

出芽は、4月から10月ぐらいまで長期にわたり、除草剤による防除が行われた後に出芽したのも問題となる。開花は短日で促進され、9月以降に出芽したものは、植物体が小さくても開花・結実する。



雑草害

主に河川敷などでまん延し、在来植生を抑圧することから**特定外来生物**に指定。

発生密度が1本/m²以下と低い場合でも、個体サイズが大きいため甚大な減収をもたらす。飼料用トモロコシ畑では1m²あたり1.5-2本程度で**80%の減収**、2.8-5本で**90-98%の減収**となる。大豆畑では壊滅的な被害をもたらす収穫不能となるケースもある。



2011.8.16
一見きれいな大豆畑が一ヶ月後...



2011.9.20
ダイズを覆い尽くすアレチウリ

防除のポイント

水系で種子が移動し拡散している可能性が高い。水田輪作地帯では地域全体に急速に拡散することが懸念される。少数でも見つけたらすぐに防除し、地域全体へのまん延を防ぐ必要がある。

花期が8月下旬以降であることから、それ以降種子を付けさせないことが重要。特に、**稲刈り後に発生したアレチウリが種子を作るまで生育する事例も観察されている**ことから、秋に残草している個体についても徹底防除すること。

写真：上から、「生育中のアレチウリ」、「果実・実生」、「被害大豆畑」。

アレチウリ

Sicyos angulatus

Ver.2.

お問い合わせ

(独)農研機構
中央農業総合研究センター
雑草管理担当
澁谷知子・黒川俊二
〒305-8666
茨城県つくば市
観音台3-1-1
029-838-8481(代)
kusa-daizu@naro.affrc.go.jp

大豆畑での防除方法

警戒種リスト (特定外来生物)



機械的防除

中耕培土では株間のアレチウリを防除できない。

侵入初期の防除が重要

一旦まん延すると防除が困難である。侵入初期の段階で手取り除草により徹底防除する。



化学的防除

大豆に登録のある選択性除草剤は効果が低い。非選択性除草剤の畦間処理はつるが邪魔をして作業が困難。

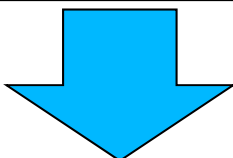
河川敷に隣接するほ場は要注意

大きな川の河川敷にまん延している場合が多くそこから侵入してくるので特に注意。

まん延ほ場では埋土種子を減らす方向での対策を

アレチウリは秋まで発生が続くため、大豆など実取り用の作物では種子生産を減らすことは難しい。8月下旬までに収穫できる作物に転換するなど、埋土種子をできるだけ減らす対策が必要。ただし、水稻へ戻すと水系で他のほ場へ拡散させる危険性がある。

ほ場全体にまん延する前に



少数発生したアレチウリ

手取り除草

少数の発生でも目立つので、侵入初期に手取り除草で徹底防除する。

除草剤情報

下記の情報はアメリカなどでの文献情報に基づくものです。その効果については検討が必要な場合があります。

※除草剤の使用にあたっては、ラベルをよく読み、よく理解した上で使用方法を遵守してください。

| 除草剤 | 薬量 | 処理方法・時期 |
|---------------|---------------|------------------|
| グリホサートカリウム塩液剤 | 200-500mL/10a | 畦間処理、収穫前日まで |
| グルホシネート液剤 | 300-500mL/10a | 畦間・株間処理、収穫28日前まで |

※特定外来生物に指定されているため、生きたまま植物体(発芽可能な種子も含みます)を他の場所に運ぶことは規制されています。特に、手取り除草を行う際は植物体を生きたまま移動させることがないように注意してください。詳しくは地方環境事務所等にお問い合わせください。

※本パンフレットは、農林水産省委託プロジェクト研究「気候変動に対応した循環型食料生産等の確立のための技術開発」および農研機構研究課題「生物情報に基づく帰化雑草の侵入・まん延警戒システムと長期的雑草管理法の構築」の成果に基づいて作成されました。

まん延を防止するために

アレチウリ

2011.11
作成版